

別紙様式

良好な景観を地元で育み、体験する伊佐沼地域

(組織名) 伊佐沼周辺田園環境保全組合 (市町村) 川越市

1 地域の資源

田	畠地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
56. 95ha	6. 33ha	4. 3km	3. 9km	1. 8km	1 箇所	- km

2 活動組織の構成員

- 構成員の人数 630人（農業者110人・非農業者520人）
- 主な構成団体 農事組合法人沼端、荒川右岸用排水土地改良区、伊佐沼自治会、二ノ関自治会、沼端自治会、鴨田第三自治会、伊佐沼の蓮を咲かそう会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、川越市の中心市街地の東側に隣接する水田地帯です。組織名となっている伊佐沼は農業用施設としてだけでなく、自然環境としても重要な資源であり、沼を中心とした水質浄化対策、環境対策に農家と地域住民が一体となって取り組んでおります。

農地維持活動として、毎年草刈りを水路で3回、伊佐沼で2回行っています。

資源向上活動の農村環境保全活動として、景観形成に取り組んでおります。具体的には農地を利用したヒマワリやレンゲの栽培を行っており、貴重な地域の交流の場ともなっています。

加えて、今年度より「外来種の駆除（生態系保全）」の活動を実施しており、特定外来生物であるナガエツルノゲイトウの伊佐沼への定着防止やミシシッピアカミミガメの防除に努めています。特に、ミシシッピアカミミガメの防除活動では、取水時期にほぼ毎週行ったことによって、これまでにおおよそ260匹もの数を捕獲しました。

また、資源向上活動の啓発・普及の一環として、地元の小学校と連携した稻の栽培体験、生き物調査などを行っており、元気な声を響かせながら地域の子供達の環境教育にも貢献しています。

さらに、資源向上支払（長寿命化）の活動としては、素掘り水路からコンクリート水路への更新に取り組んでいます。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・農用地、水路、ため池の点検及び機能診断	・点検、機能診断結果を踏まえた活動計画策定 ・地域住民等との交流活動（農業まつりに参加し活動紹介・参加者募集）・学校教育等との連携（水稻、生き物調査など）	・畦畔・農用地法面・水路・ため池の草刈り ・水路の泥上げ・農用地等を活用した景観形成活動（レンゲ・ひまわり栽培）・施設等の定期的な巡回点検・清掃



■水稻栽培学習（稲刈り・脱穀）



■生き物調査



■ひまわりの栽培（開花時）



■レンゲ草の栽培（開花時）



■外来種（ミシシッピアカミガメ）の防除



■外来種（ナガエツルノゲイトウ）の防除

5 取組の効果及び今後の展望等

- ・組織名にもある伊佐沼は農業用用水施設として重要であり、本組織の活動は、そのための適正な管理に寄与しています。
 - ・小学校と連携した活動や非農家を含めた地域住民による清掃活動等は、農村環境に関心を持ってもらう良い機会となっています。
- 今後も地域の方々の理解がより深まるよう交流などの機会を持ち、農村環境の保全・向上に努めていきたいです。